

(キトリ)

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KATF-001	製品名	2.4GHzスピーカー ウェアラブル TF-01
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：半年間
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		
	店舗印		
	電話番号		

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入（もしくは押印）してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意（使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど）による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合
 - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
 - 本書の掲示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
 - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

発売元 **ライソン株式会社** 〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

お客様サービスセンター

TEL 06-6789-1199

〔月～金（祝日除く）10時～16時〕

WEBからの修理・交換の
お問い合わせはこちら



(キトリ)

LITHON**2.4GHzスピーカー ウェアラブル
TF-01****取扱説明書****もくじ**

- 様々な使い方 P.2
- 安全にお使いいただくために... P.3
- セット内容・各部名称 P.4
- 充電方法 P.5
- 使用方法 ①
スピーカーの使用方法 P.5~7
- 使用方法 ②
複数のスピーカーを接続する方法... P.8
- 使用方法 ③
オーディオモード P.9
- 使用方法 ④
スピーカーの音量・消音について ... P.9
- 故障かな？と思ったら P.10
- テクニカルデータ P.11
- 保証書 P.12

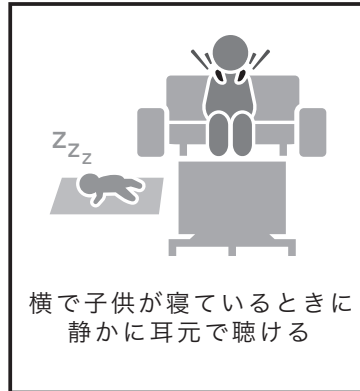
**日本国内専用**

最新情報は弊社公式サイトよりご確認ください。

<https://www.lithon.co.jp/product/audiovisual/katf001>

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

様々な使い方



有線でつなげているのとはほぼ変わらない驚異の低遅延

送信機からスピーカーへの音声の伝送時間はわずか約15ms(0.015秒)。※当社調べほとんど音ずれすることなく耳で音声を聴くことができます。

肩にかけるスピーカーが、耳元をサウンドで包みこむ

ヘッドホンとは違い、周囲を把握しながら音楽やテレビの音声を楽しめます。耳元が音で包まれ、音を着る感覚になります。

やわらかく快適な装着感

約210gの軽さと、背中側の首もと・肩・鎖骨のラインに沿ったアーチ状の形になっており、背中側の首もとに接する部分は柔軟に曲がって、長時間でも疲れることなく、心地良い装着感を保ちます。

押しやすいボタンデザイン

手触りでどのボタンか把握できるため、装着した状態でも押し間違えずに使用できます。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告

下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音が出たら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがある時は、USBケーブルをパソコン本体のUSBポートなど電源の供給元から抜いてください。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

注意

下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 使用温度範囲を超える場所や多湿・直射日光のあたる場所での使用・保管はしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本製品は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充電により消耗します。交換はできません。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- 充電中は本製品の周囲に物を置かないでください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子供や乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

電波に関する注意事項

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
◎本製品を分解・改造すること ◎本製品に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本製品は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

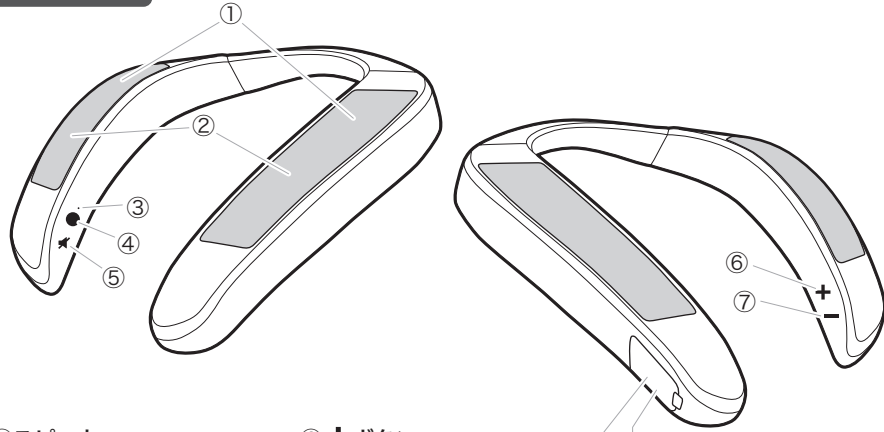
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- ①本製品を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ②万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

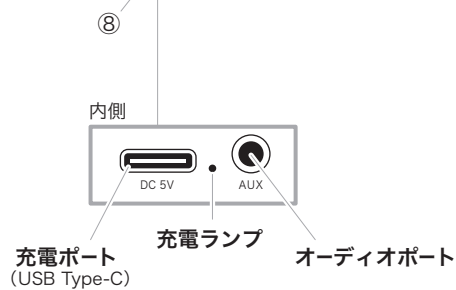
- 本製品の通信距離は最大約30mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

セット内容・各部名称

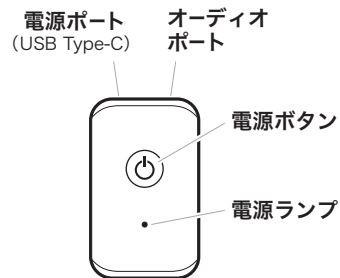
ウェアラブル スピーカー



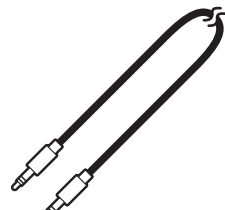
- ①スピーカー
- ②パッシブブラジエーター
- ③電源ランプ
- ④●ボタン
・(長押し)電源ON / OFF
- ⑤✳ボタン
・消音 / 消音解除
・(5秒長押し)
ペアリング先検索
- ⑥+ボタン
・音量アップ
- ⑦-ボタン
・音量ダウン
- ⑧ポートカバー



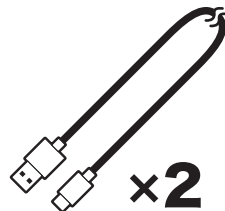
送信機



オーディオケーブル φ 3.5 mm



USBケーブル (Type-A/Type-C)

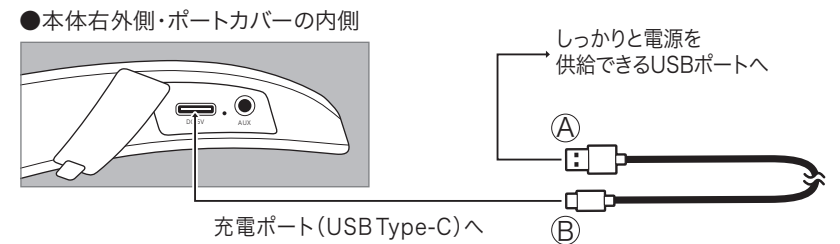


充電方法

! 充電中の使用について
スピーカーを充電しながら使用しないでください。
電池の劣化を促進させたり、電池破損の原因になります。

! 注意
・充電には付属のUSBケーブル以外を使用しないでください。
・初めてスピーカーを使用するときは、完全に充電をおこなってください。
・USBハブを使用して充電をおこなった場合は、正常に充電されないことがあります。
必ずお手持ちのUSB-ACアダプターや通電したパソコン本体のUSBポートなど、しっかりと電源を供給できる環境で充電をおこなってください。

(1)お手持ちのUSB-ACアダプターや、通電したパソコンのUSBポートに付属のUSBケーブル(A)を接続し、もう片方(B)をスピーカーの充電ポート(USB Type-C)に差し込みます。充電ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。



! 充電ポート(USB Type-C)への差し込みについて
必要以上に押し込むと本体破損の原因になりますので、充電ランプが赤く点灯したらそれ以上押し込まないでください。

(2)充電が完了するとランプは消灯します。

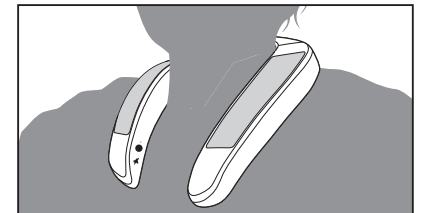
! 電池残量が空の時に充電すると、完了するまで約4時間かかります。
充電ランプが消灯したら、USBケーブルを取り外してください。

! 使用中、電池残量が少なくなると周期的に音が途切れ、お知らせ音が鳴るので充電してください。

使用方法 ① スピーカーの使用法

装着の仕方

背中側の首もと・肩・鎖骨のラインに沿うように本機を肩にかけます。
この時、右手側に●ボタンと✳ボタン、左手側に+ボタンと-ボタンがきます。



基本操作

- 電源ON 本体の電源をONに(●ボタンを長押し)すると音が流れ、電源ランプが青く点滅し始めます。
- 電源OFF 本体の電源をOFFに(●ボタンを長押し)すると音が流れ、電源ランプが消灯します。

使用方法① スピーカーの使用方法 (つづき)

スピーカーと送信機のペアリングの仕方

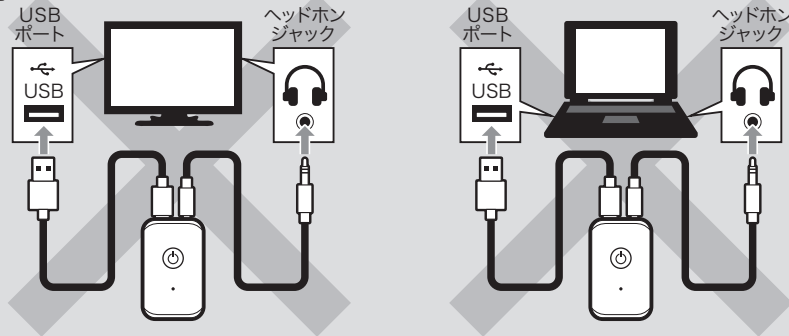
本製品は工場出荷時に初回ペアリング作業をおこなっております。1度ペアリングしたことのある機器として記憶され、それぞれの電源を入れるだけで自動的にペアリングされます。

(1)送信機を各ケーブルと接続

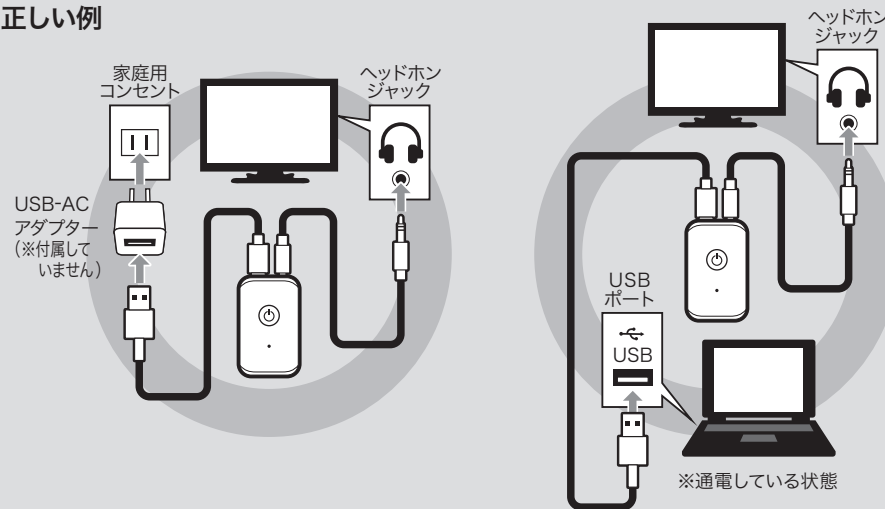
付属の「オーディオケーブル」を送信機のオーディオポートにしっかりと奥まで差し込み、もう片側をテレビ等の音源をとりたい機器のヘッドホンジャックに差し込みます。
付属の「USBケーブル」を送信機の電源ポートに差し込み、もう片側をお手持ちのUSB-ACアダプターに差し込んで家庭用コンセントにつないだり、通電したパソコン本体のUSBポートなどに差し込んでしっかりと電源を供給できるようにしてください。

**※「オーディオケーブル」を接続する機器から電源を取らないでください。
ノイズや音切れ等の不具合の原因になります。**

誤った例



正しい例



(2)送信機の電源ON

送信機の電源ボタンを長押しして電源を入れます。(この時、電源ランプが速い・ゆっくりの青点滅を繰り返します。)

(3)スピーカーと送信機をペアリング

スピーカーの電源を入れて送信機に近付けると、自動でペアリングされます。
(ペアリングが完了すると、どちらの電源ランプも青点滅から青点灯に変わります。)

※もし自動でペアリングされない場合は、スピーカーの **▼** ボタンを5秒ほど長押しして、送信機の電源ボタンを一回押すとペアリングされます。



※本製品の通信距離は最大約30mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。

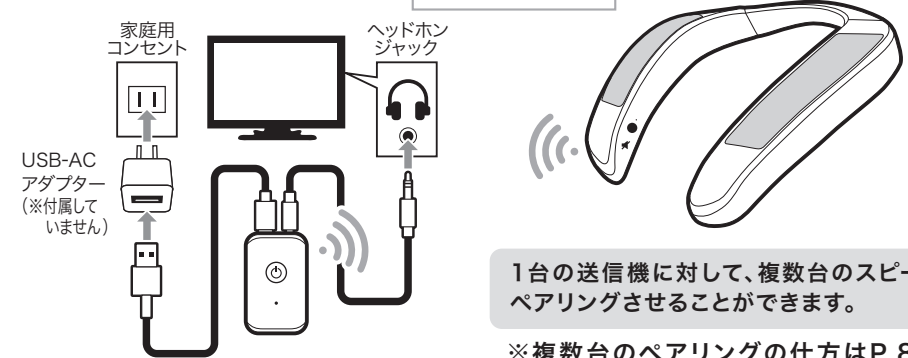
電源ランプの状態の説明(スピーカー・送信機 共通)

- ・速い点滅：新規ペアリング先(今までペアリングしたことのない機器のみ)を検索中
- ・ゆっくり点滅：ペアリングしたことのある機器を検索中
- ・点灯：ペアリング中

(4)音が流れる

スピーカーと送信機のペアリングが完了すると接続した機器の音が流れるようになります。
※接続した機器自体の音が流れていないとスピーカーから流れません。

接続イメージ図



1台の送信機に対して、複数台のスピーカーをペアリングさせることができます。

※複数台のペアリングの仕方はP.8を参照

(5)テレビの音声をスピーカーからだけではなく、スピーカーとテレビ両方から流したい場合

自分だけ音声を大きく聞いて、周りの人はテレビから出る音量で聞きたい時は、テレビ側の設定で変更してください。変更方法は使用しているテレビによって異なるので、テレビの取扱説明書をお読みください。

例)『SHARP AQUOS(アクオス)』の場合、
「ホーム」→「設定」→「外部端子設定」→「ヘッドホン」→「モード2」

使用方法② 複数のスピーカーを接続する方法

本スピーカーを複数台お持ちになると、1台の送信機で同時にペアリングして、同じ音を複数人で楽しむことができます。

送信機とペアリングしたことのないスピーカーは初回ペアリング作業をおこなってください。

! ※他社製品とはペアリングできません。



初回ペアリング作業 (送信機とペアリングしたことのないスピーカーとのペアリング) の仕方

(1)送信機の電源ON

送信機の電源ボタンを長押しして、電源を入れます。
(この時、電源ランプが速い・ゆっくりの青点滅を繰り返します。)【図1】

(2)スピーカーを新規ペアリング先の検索モードに

ペアリングしたことのないスピーカーの電源を入れた後、スピーカーの **▼** ボタンを約5秒長押しします。(この時、スピーカーの電源ランプが速い青点滅になります。)【図2】

(3)送信機とスピーカーがペアリング

数秒待つとスピーカーから「ピッ」と接続音が鳴り、送信機とペアリングされます。(それぞれの電源ランプが青点滅から青点灯に変わります。)【図3】

(4)更に別のペアリングしたことのないスピーカーとペアリングする場合

(1)~(3)の手順を繰り返してください。

・初回ペアリング作業は1台ずつおこなってください。

※それ以外の2.4GHzデバイス機器の電源は入れないでください。

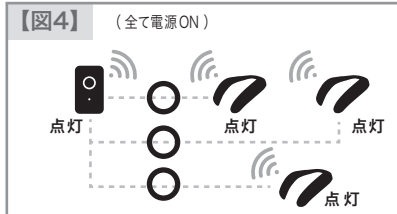
・1度ペアリングをすると、以降は自動的に接続されます。

ペアリングしたことのある機器は記憶され、電源を入れるだけで接続されます。
※スピーカーからの接続音は初回ペアリング作業時のみで、自動的にペアリングされる際に接続音は鳴りません。

送信機1台とスピーカー複数台のペアリングの仕方

送信機と初回ペアリングを済ませたスピーカー複数台のそれぞれ電源を入れるだけで、自動的にペアリングされます。【図4】

下図の表記説明	
太字 …電源ランプの状態が1つ前の図から変わっている	
細字 …電源ランプの状態が1つ前の図から変わっていない	
() …動作の説明	
【図1】	<p>速い・遅い点滅繰り返し (電源ON) 消灯</p>
【図2】	<p>速い・遅い点滅繰り返し 速い点滅 (電源ONにしてから ▼ボタン約5秒長押し)</p>
【図3】	<p>点灯 点灯</p>



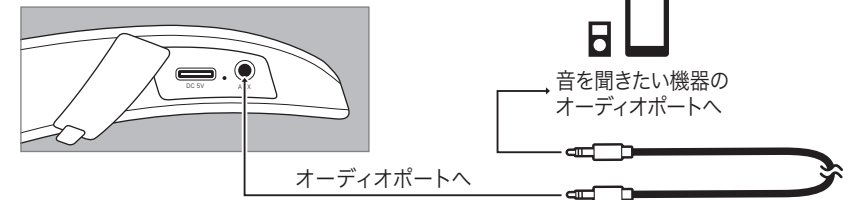
使用方法③ オーディオモード

スマートフォンやミュージックプレーヤーと直接ケーブルでつなげて音を聴く

(1)オーディオケーブルを接続

付属のオーディオケーブルの片側を、音を聴きたいお手持ちの機器のオーディオポートに差し込みます。差し込んだケーブルの反対側を、スピーカーが電源ONの状態、本体右側面のポートカバー内にあるオーディオポートに接続すると、無線モードからオーディオモードになります。

●本体右外側・ポートカバーの内側



(2)接続した機器を再生して音を流す

※接続した機器自体の音が流れていないとスピーカーから流れません

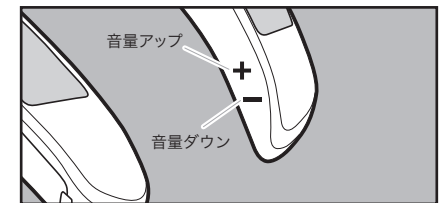
(3)オーディオモードの解除

スピーカーに差し込んだオーディオケーブルを抜くと、無線モードに戻ります。

使用方法④ スピーカーの音量・消音について

音量について

スピーカーの音量が最大に達すると、お知らせ音が鳴ってそれ以上音量は上がりません。
音量が最小に達すると消音になります。
※接続している機器自体の音量調節は、接続している機器側で直接おこなってください。



! ※最初から大きな音に設定しないでください。耳を痛める恐れがあります。

消音について

▼ボタンを押すと、消音になります。もう一度押すと消音が解除されます。
(消音中、電源ランプは青の2回点滅の状態になります。)



故障かな？と思ったら

- **スピーカーの電源が入らない**
 - ・スピーカー本体が充電されているかどうか、確認してください。
- **送信機の電源が入らない**
 - ・USBケーブルが、電源を供給できるUSBポートへしっかりと差し込まれているかどうか、確認してください。(P.6 参照)
- **スピーカーから音が出ない**
 - ・スピーカーの音量が最小になっている可能性があります。音量をあげてください。
- **ノイズが出る**
 - ・送信機及びテレビなどの接続する機器のヘッドホンジャックにオーディオケーブルがしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。何度かオーディオケーブルを抜き差しすると接触がよくなる場合があります。
 - ・オーディオケーブルを接続している機器から電源を取っていないか確認してください。ノイズや音切れ等の不具合の原因になります。(P.6 参照)
- **音が途切れる**
 - 電波が干渉している可能性があります。
 - ・周辺に無線機器や電子レンジなどがある場合はできる限り離れて使用してください。
 - ・無線LANアクセスポイントの近くで送信機及びスピーカーを使用すると音が途切れる場合があります。
 - ・スマートフォンやタブレットなどは画面が消えていても通信をしているため、近くにあると音が途切れることがあります。
 - ・テレビやサウンドバーなどの他の無線機器への影響がある場合は、送信機の位置を動かしてください。
例) 右側に置いて影響がある時は、左側や中央に位置をずらす。など
- **電源を入れたのに自動的に再接続されない**
 - ・自動で接続されない場合、スピーカーおよび送信機の電源を入れ直すか、再度初回ペアリング作業をおこなってください。(P.8 参照)
- **一定間隔で音が途切れる(警告音が鳴る)**
 - ・スピーカーの充電がもうすぐなくなるというお知らせ音です。スピーカーを充電してください。
- **連続再生時間が短くなった**
 - ・バッテリーは消耗品です。使用とともに徐々に劣化していきます。

テクニカルデータ

ウェアラブルスピーカー	
通信方式	低遅延無線
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.403GHz~2.478GHz)
伝送距離	最大約30m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
型式	2chスピーカー デュアルパッシブラジエーター型
スピーカー口径	φ28mm × 2
最大出力	3W × 2
インピーダンス	8Ω
電源	DC 3.7V 内蔵リチウムイオン充電電池 1000mAh
充電時間	約4時間 ※充電機器により異なることがあります
連続再生時間	約10時間 ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用温度範囲	5~35°C
外形寸法	約 W213 × D185 × H45 mm
質量	約 210g
送信機	
通信方式	低遅延無線
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.403GHz~2.478GHz)
伝送距離	最大約30m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
同時接続台数	複数台可
電源	USB電源
接続	3.5mmイヤホンジャック入力
使用温度範囲	5~35°C
外形寸法	約 W30 × D17 × H50 mm
質量	約 14g

※通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、通信距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。



本製品を廃棄するときはバッテリーのリサイクルにご協力ください。
本製品の本体には『リチウムイオンバッテリー』が使用されています。
資源を有効活用するため、廃棄するときは各地方自治体の廃棄物処理の指示に従って処理してください。